



令和2 年度 福島県小学生バレーボール連盟 運 営 基 本 方 針

基本理念「すべては子どもの笑顔のために！」

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大によりその猛威は終息が見通せず、東京オリンピックを始め、世界・日本・県内において各種スポーツイベントが延期や中止となっています。本連盟では、全日本小学生大会、東北選手権大会、県・地区大会を中止し、9月以降については、その後の状況を踏まえ判断するとしました。

今年度は今までに経験したことのない苦渋の決断であり、先行きが読めない苦難な年度となりました。

この難局を乗り切るためには、県小連関係者が「ワンチーム」となり、バレーボールを愛する子どもたちに寄り添い、安心と元気、そして希望を与えることが責務です。

本連盟の最終目標は、「バレーボールを通し、子どもたちにスポーツの楽しさを体感させ、生活を豊かにし、多くの友だちの輪を広げ、健全に成長させること」にあります。

子ども達にはこの難局をチャンスととらえ、「バレーボールができる感謝」「友達とプレーできる楽しさ」「仲間が増える喜び」を味わわせることにより、基本理念である「すべては子どもの笑顔のために」を目指していきます。

実践・重点事項

1 バレーボールができることに感謝し、この難局を乗り越えよう。

(1) 日常活動における、よいチームづくりのバレーボール環境整備をする。

- 保護者と指導者間で、指導方針の共通理解を図る良好なチームづくり。
- 子どもたちに感謝づくり・仲間づくり・楽しさづくりを目指すチームづくり。

(2) 大会中止に伴い、各チームに情報の発信をする。

- 不透明な社会情勢を見据え、大会予定や諸情報について随時発信。
- 練習自粛や再開時における留意点を情報発信。

2 今だからこそできる。体罰・暴力・暴言絶無のための自己研修をする。

(1) バレーボールの楽しさを真に体感させ、信頼・尊敬される指導者を育成する。

- 「ナイスプレー」など、チャレンジを評価する言葉をかける指導者育成。
- 的確なアドバイスと、常に子ども達から学ぶ姿勢を持ち続ける指導者育成。
- 「こんにちは、はい、がんばろう、わたしがやります」の声が飛び交う練習。

(2) 体罰・暴力・暴言の絶無を目指す指導法改善と指導者の意識変革を図る。

- 「私の効果的指導法」についての実践報告と紹介。
- 体罰・暴力・暴言を見逃さない保護者や他チームからのチェック体制の強化。

3 健康・安全に留意し、共にプレーができる楽しさを味わおう。

- (1) 日常生活における選手の健康・安全・生活習慣づくりを推進する。
 - コロナ感染症対策、熱中症対策、災害対応等について情報発信。
 - 運動不足解消のためのプログラム機会提供とHPでの紹介。
- (2) 練習再開時・大会開催時の健康・安全管理体制づくりと安全な競技運営をする。
 - 大会開催時のコロナ感染症対策マニュアルの作成
 - 会場・施設・用具の点検、緊急時対応マニュアルの作成

4 バレーボール仲間が増える喜びの方策づくりをしよう。

- (1) バレーボールを取り巻くマイナスイメージを払拭するため、子ども並びに保護者や役員が加重負担にならないような競技会やチーム運営をする。
 - 指導者と保護者間で子供中心においた共通認識と運営。
 - 保護者一律の協力分担でなく、協力可能な役割を理解した分担運営。
 - 運営費や遠征費に係る出費をできる限り軽減。
- (2) 低年齢からバレーボールに親しみ、楽しさを味わわせる施策を実施する。
 - バレーボールの特性にとらわれない楽しいルール作り。
 - チーム運営について、子どもと保護者の視点から見直し。

5 第40回記念全日本小学生バレーボール大会開催方針等の情報収集をする。

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大状況による第40回記念全国大会の開催有無を、日小連、東北小連と連携して情報収集に努める。
- (3) 全国大会役員経験を生かして、福島県小連関係者の力を結集した各種大会を運営をする。

○指導者「GOOD COACH」の心得

PATROL「巡回する、見てまわる」

Process：「結果ではなく、経過を重視しましょう」

Acknowledgment：「承認しましょう」

Together：「一緒に楽しみ、一緒にかんがえましょう」

Respect：「尊敬」しましょう、尊重しましょう」

Observation：「よく観察しましょう」

Listening：「話をよく聴きましょう」

